

親子で楽しむ市内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝宝箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん、やよいちゃん

5 福勝寺の構 かまえ

今月は古田の福勝寺の構を紹介します。



▲歴史の謎を深く秘めて今も…



- 【クイズ】
福勝寺の当初の名は、姫路市の町の名で今も残っています。それは、どれでしょう。
- ① 姫路市景福寺町
 - ② 姫路市威徳寺町
 - ③ 姫路市国府寺町

福勝寺は播磨町の町境にあり、道の向いは加古川市になります。東から向かうと、「曹洞宗 福勝寺」の石柱が見えてきます。さらに正面の建物の上にも「福勝寺」の額が掲げられています。いかにも歴史の重さを感じる境内です。

福勝寺の創立は寺伝によると、「慶長八年（一六〇三年）、徳川幕府ができた年と同じとなっています。では、お寺ができる前には、ここになががあったのでしょうか。地元の方はよく話されますが、「福勝寺さんのまわりには、堀があって、土塁もあつたんやで」とのこと。古い地図や航空写真を見ると、今の福勝寺を北西すみとして、約一〇〇メートル四方の構のあとがわかります。

このようすから、この寺ができる以前にはこの地の領主がいた可能性があります。この構が壊された後に、福勝寺ができたとなると寺伝と一致します。事実、『播磨鑑』によると、今の猪名川町杉生にあった「景福寺」が天正年間（一五八〇年頃）に、この「古城」跡地へ移ったとあります。

さらに一六〇〇年、池田輝政が姫路に入ると、「景福寺」を姫路に呼び寄せ、同じ名の寺をつくります。これが姫路市景福寺町の由来となります。その後、同じ名の寺が同じ藩にあってはいけないということで、播磨町の寺は今の「福勝寺」と名をかえています。

ともあれ、天正年間以前は「城」だったことがわかります。このことから、この構は黒田官兵衛が救援した「阿閉城」の候補になっています。

（郷土資料館 館長 田井恭一）

■ クイズの答 ① 姫路市景福寺町

町の人口 7月1日現在

34,273人 (+9人)

(住民基本台帳人口+外国籍人口)

男…16,850人 (-6人)

女…17,423人 (+15人)

世帯数…13,508 (+26)